

第2節 家での勉強の様子

1. 家でどのくらい勉強しているか

【家での勉強日数は、「ほとんど毎日（6～7日）」が18.7%、「週に半分以上（4～5日）」が23.0%であり、両者を合わせるとおよそ4割が週の半分程度以上の勉強日数を確保している。他方、「家ではほとんど勉強しない」と答えた中学生も2割弱に達している。成績上位者ほど勉強日数が増える傾向がある。】（図1-3）

Q3

家での勉強についてうかがいます。
（学習塾や予備校、家庭教師との学習は除きます）

A. あなたはふだん、家でどのくらい勉強をしますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

今回の調査では、家での学習習慣を、①1週間の勉強日数、②勉強時間、③テスト勉強

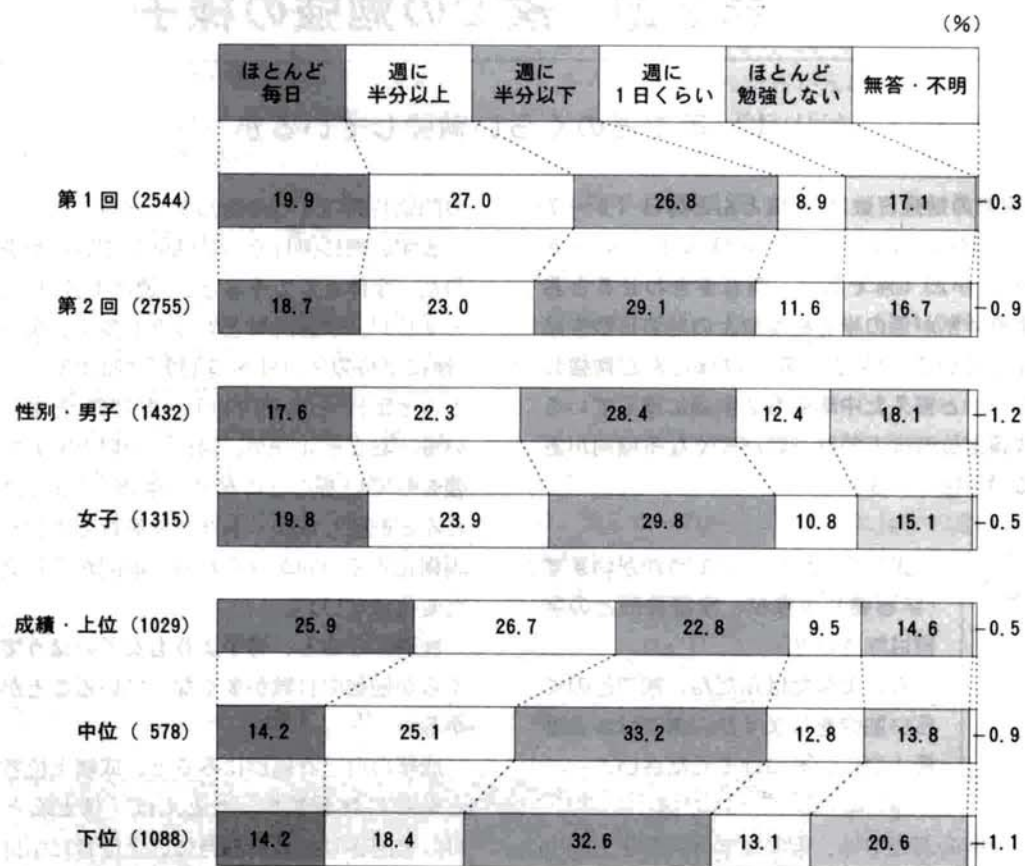
の開始時期の3つの側面からとらえた。

まず、週に何日くらい勉強しているかを尋ねた。全体としてみると、「週に半分以下（2～3日）」が29.1%と最も多く、次いで「週に半分以上（4～5日）」（23.0%）、「ほとんど毎日（6～7日）」（18.7%）となっている。およそ4割が、週に半分以上家庭で勉強をしていることになる。他方、「家ではほとんど勉強しない」も16.7%を数えており、両極化する傾向がみられる（前回から目立った変化はない）。

性別にみると、男子よりも女子のほうがいくらか勉強の日数が増えていることがわかる。

成績の自己評価別にみると、成績上位者ほど勉強日数が増え、たとえば「ほとんど毎日」と回答した者の割合は、上位者は中位者・下位者の2倍近くに及んでいる。

図1-3 家でどのくらい勉強しているか



注) () 内はサンプル数。

2. 勉強時間、テレビ視聴時間、就寝時間

【1日の平均勉強時間は1時間30分で、日曜日はこれよりも15分短い。学校が休みの土曜日は日曜日とほぼ同じ勉強時間である。テレビは、1日に2時間29分見る。勉強時間は成績の自己評価が高い者ほど長く、逆に、テレビの視聴時間は成績の自己評価が低い者ほど長い。前回よりも平日の勉強時間が若干短く

なっている。休日の勉強時間の地域差は大きく、大都市がもっとも短い。

就寝時間は、平均で11時24分。大多数は午後11時から午前1時の間に床につき、属性による違いはほとんどない。】(図1-4、図1-5)

Q19

家で勉強時間などについてうかがいます。

A. あなたはふだん(月曜日～金曜日)、学校での授業以外に1日に何時間くらい勉強していますか。学習塾や予備校、家庭教師について勉強する時間も含めてください。

B. 日曜日は、家で何時間くらい勉強しますか。学習塾や家庭教師について勉強する時間も含めてください。

C. 学校が休みの土曜日は、家で何時間くらい勉強しますか。学習塾や家庭教師について勉強する時間も含めてください。

D. それでは、ふだん(月曜日～金曜日)テレビを1日に何時間くらい見ますか。

E. ふだん(月曜日～金曜日)、何時頃に寝ますか。

《勉強時間》

それでは、学習習慣を勉強時間の長さでみるとどうだろうか。中学生は、ふだん1日に何時間くらい勉強しているのだろうか。ここでは、3つの項目に分けて、勉強時間を尋ねた。

まず、「ふだん家に帰ってから勉強する時間」からみる。全体としては、「1時間～1時間30分」の層がもっとも多く、全体の4割弱が集中する。これに「2時間～2時間30分」を加えると、全体の3分の2程度が含まれることになる。勉強時間の平均時間(概算)は1時間30分である。前回よりも若干勉強時間の短い層が増えている。

次に、「日曜日に勉強する時間」についてはどうだろうか。もっとも多いのは「1時間～1時間30分」で30.6%、「2時間～2時間30分」(20.8%)と合わせて約半数がこれら2つの層

に含まれる。平均時間は、1時間15分である。

3つ目は、「学校が休みの土曜日に勉強する時間」である。傾向は「日曜日に勉強する時間」とほとんど同じであり、「1時間～1時間30分」「2時間～2時間30分」の層が全体の半数を占めている。平均時間も1時間14分で、1分しか変わらない。勉強時間に関する限り、学校週5日制は、日曜日を1日増やすという結果をもたらしている。

しかし、それは成績による勉強時間のパターンを維持するという結果をもたらしている。勉強時間の成績差は大きく、これはどの曜日をとっても同じである。また、「成績上位者」あるいは「成績中位者」でも日曜日の勉強時間を「ほとんどしない」と回答する者が2割あまりを数えている点が目を引く。

地域差もかなり大きい。平日の勉強時間には目立った差はないが、日曜日や学校が休みの日の勉強時間にはきわめて大きな地域差がある。大都市の中学生がもっとも短く、これに地方都市が続き、郡部が最長である。

《テレビの視聴時間》

それでは、テレビの視聴時間についてはどうだろうか。もっとも多いのは、「3時間以上」であり、これが全体の43.6%に達している。平均視聴時間は、2時間29分に達している。前回と比べても目立った変化はない。

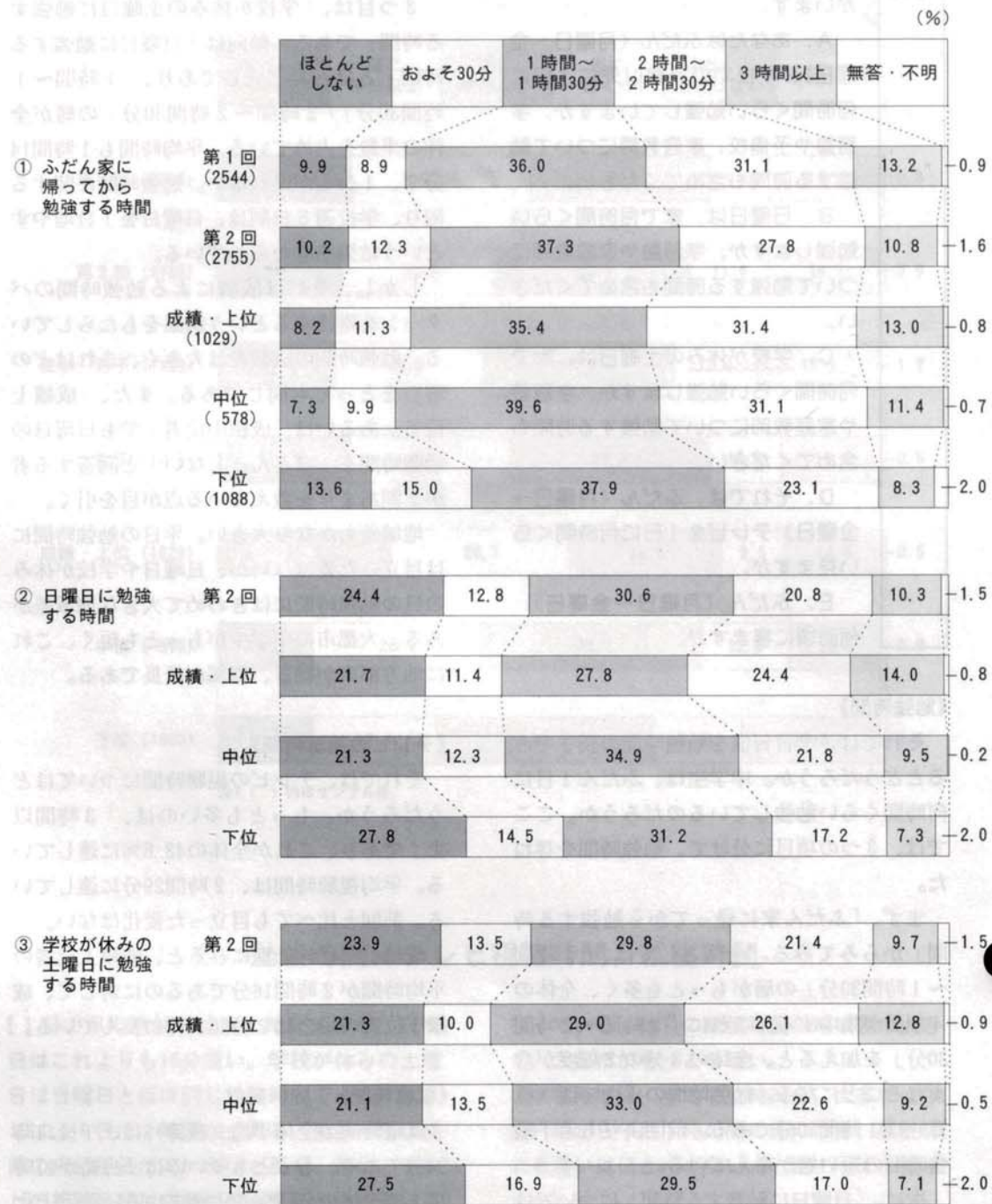
成績の自己評価別にみると、成績上位者の平均時間が2時間16分であるのに対して、成績下位者の場合は2時間44分に及んでいる。

《就寝時間》

就寝時間の全体平均(概算)は、午後11時24分である。もっとも多いのは「11時か11時半」で全体の44.7%を占めている。前回と比べてもほとんど変化はみられなかった。

また、属性との強い関連もみられず、勉強時間でみられた成績差もなかった。

図1-4 勉強時間、テレビ視聴時間



※次ページへつづく

図1-5 就寝時間

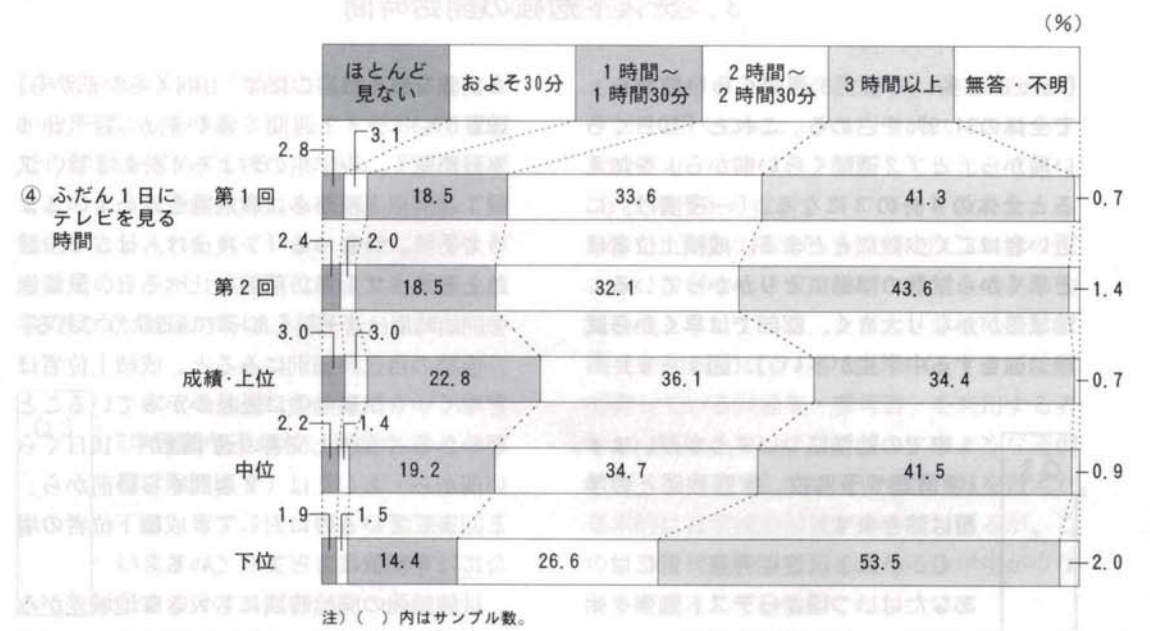
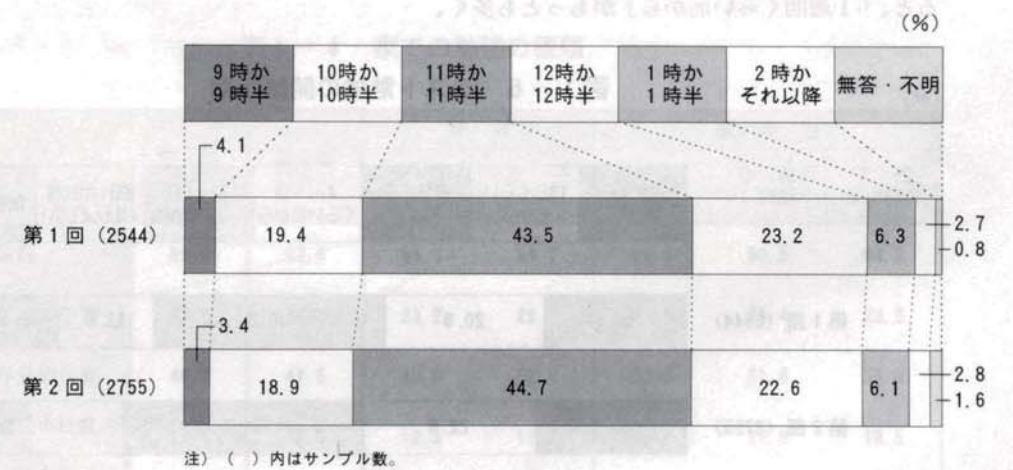


図1-5 就寝時間



3. テスト勉強の開始時間

【もっとも多いのは「1週間くらい前から」で全体の31.9%を占める。これと「10日くらい前から」と「2週間くらい前から」を加えると全体の4分の3になる。「一夜漬け」に近い者はごく少数にとどまる。成績上位者ほど早くから試験の準備にとりかかっている。地域差がかなり大きく、郡部では早くから試験勉強をする中学生が多い。】(図1-6)

Q3

家で勉強についてうかがいます。(学習塾や予備校、家庭教師との学習は除きます)

C. テスト(定期考査)前には、あなたはいつ頃からテスト勉強を始めますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

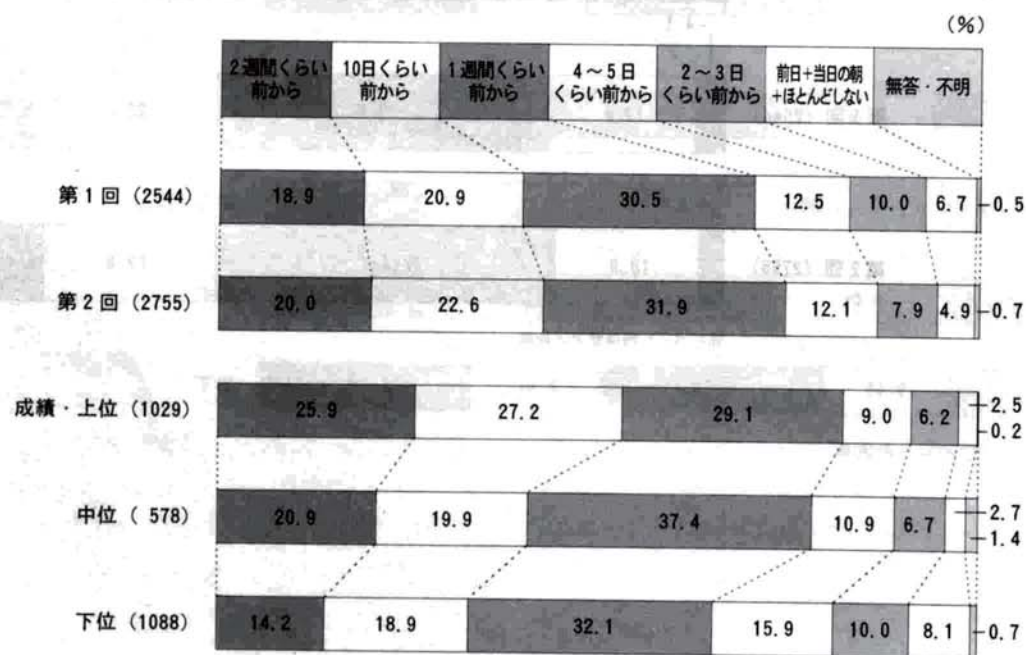
中学生は、いつ頃から定期考査に向けてテスト勉強を始めるのだろうか。全体としてみると、「1週間くらい前から」がもっとも多く、

3割強を数えた。これに「10日くらい前から」(22.6%)と「2週間くらい前から」(20.0%)が続く。中学生のおよそ4分の3は、試験1週間以上前から試験勉強を始めているようである。いわゆる「一夜漬け」はごく少数にとどまっている。前回と比べると、試験勉強開始時期は若干早くなっているようである。

成績の自己評価別にみると、成績上位者ほど早くから試験勉強にとりかかっていることがわかる。成績上位者の過半数が「10日くらい前から」もしくは「2週間くらい前から」と回答しているのに対して、成績下位者の場合には3割強にとどまっている。

試験勉強の開始時期にも大きな地域差がみられる。郡部では、4割の中学生が「2週間くらい前から」試験勉強を始めるのに対して、他の地域ではこの割合は1割台にとどまっている。この点は、先の勉強時間の地域差と部分的に符合している。

図1-6 テスト勉強の開始時期



注) () 内はサンプル数。

4. 家での勉強内容

【中学生の多くは、「学校の宿題」をこなしながら予習よりも復習にウエイトをおいて家庭での学習を進めている。しかし、「『進研ゼミ』のような通信教育」も前回にも増して積極的にとり入れられている。全般に男子よりも女子のほうが、成績下位者よりも成績上位者のほうが数値が高い。】(表1-4)

Q3

家で勉強についてうかがいます。(学習塾や予備校、家庭教師との学習は除きます)

B. 家では主にどんな勉強をしていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

ここまで、家庭での学習の量的な特徴を描いてきた。以下では、質的な側面に焦点をあわせて、中学生の学習行動の傾向をさぐってみよう。

まず、8つの項目を設定し、家での勉強の種類を調べてみた。もっとも多いのは、「学校の宿題」で全体の9割がしていた。これに「学校の授業の復習」が47.5%を数えた。しかし、「学校の授業の予習」は24.8%にとどまり、復習中心の家庭学習が中学生の基本的な特徴となっている。ただし、学校外の学習機会を利用する者も少なくなく、「書店などで売っている問題集・参考書」を利用する者も31.1%に上り、「『進研ゼミ』のような通信教育」を家庭でしている者も28.6%を数えた。基本的には学校の勉強が中心ではあるが、このような補助的な学習を進める中学生が少なからず存在している。

前回の結果と比べると、基本的な傾向は変わらないが、「『進研ゼミ』のような通信教育」が1割増加し、「宅配の家庭学習教材」が1割減少している点が目を引く。

性別にみると、「塾や予備校の授業の予

表1-4 家での勉強の種類

	第1回 (2544)	第2回 (2755)	性別		成績別		
			男子 (1432)	女子 (1315)	上位 (1029)	中位 (578)	下位 (1088)
1. 学校の宿題	89.9	87.6	83.9	91.7	89.5	90.5	84.2
2. 学校の授業の予習	27.8	24.8	23.2	26.5	27.6	25.4	22.3
3. 学校の授業の復習	46.3	47.5	43.0	52.4	53.6	51.6	39.8
4. 塾や予備校の授業の予習	11.6	12.3	13.3	11.2	14.4	11.8	10.5
5. 塾や予備校の授業の復習	15.3	17.5	17.0	18.1	22.2	16.3	13.0
6. 「進研ゼミ」のような通信教育	19.1	28.6	25.1	32.5	31.8	29.8	25.4
7. 宅配の家庭学習教材	18.5	8.9	7.5	10.3	8.6	8.8	9.2
8. 書店などで売っている問題集・参考書	-	31.1	27.8	34.8	35.6	29.8	27.8

注) () 内はサンプル数

習」以外のすべての項目で女子のほうが高い割合を示している。

成績の自己評価別では、「学校の授業の復習」「塾や予備校の授業の復習」「進研ゼミ」のような通信教育」「書店などで売っている問題集・参考書」で成績が上位になるほど数値が高くなっている。

ミ」のような通信教育」「書店などで売っている問題集・参考書」で成績が上位になるほど数値が高くなっている。

5. 家での勉強の様子

【中学生の9割が「出された宿題をきちんとやっていく」と答えている。全般的にまじめな姿勢が目立つが、自分で詳しく調べたり、予習をして授業にのぞむ者は比較的少ない。しかし、勉強への積極的な姿勢は前回よりもむしろ強まっている。】(図1-7)

ている。また、6~7割程度の中学生が「嫌いな科目の勉強も一生懸命する」(68.3%)、「家族に言われなくても自分から進んで勉強する」(64.4%)、「机に向かったら、すぐに勉強にとりかかる」(60.4%)と回答しており、熱心に学習に取り組んでいることがわかる。しかし、「授業で習ったことを、自分でもっと詳しく調べる」「予習をしてから授業を受ける」という回答は比較的少なくなっている。また、「ラジオやテレビ、CDをつけっ放しで勉強する」という者が55.6%を数えており、「ながら勉強」がかなり一般化していることがわかる。

前回と比べると、積極的な回答がほとんど例外なく増えている。たとえば、「机に向かったら、すぐに勉強にとりかかる」「計画を立てて勉強する」「嫌いな科目の勉強も一生懸命する」という項目では、10ポイント以上の増加を記録している。

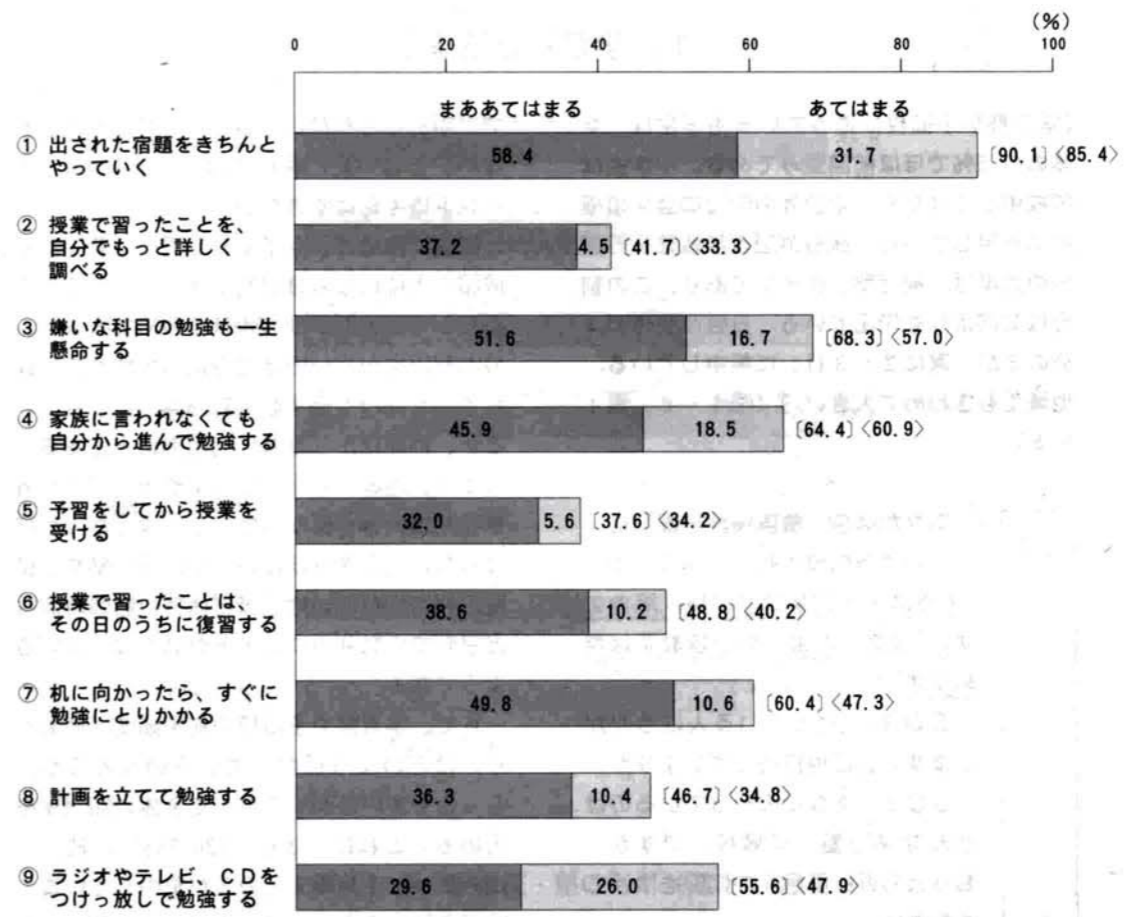
Q3

家での勉強についてうかがいます。(学習塾や予備校、家庭教師との学習は除きます)

F. 家での勉強のようすについてうかがいます。1)~9)のそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

9つの項目を設定し、家での勉強の様子について尋ねた。全体の9割が「出された宿題をきちんとやっていく」と答えており、先の「家での勉強の種類」と一致した結果を示し

図1-7 家での勉強内容



注1) [] 内の数値は「あてはまる」と「まああてはまる」の合計。
 注2) < > 内の数値は第1回の結果。
 注3) サンプル数は2755人。